

R 6 年度 学習の手引き（シラバス）

2	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅡ(普・理)	単位数	4	担当者	宮田・北嶋
---	----	-------	-----------------------	-----	---	-----	-------

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 : Heartening English Communication II (桐原書店) ・副教材 : Heartening II Advanced Exercises(理)/ Heartening II Standard Workbook(普) (桐原書店)
--

2. 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の4技能を総合的に身に付け、各題材において、自分自身の感想や意見を表現する能力に磨きをかける。意見交換などを通し様々なものの見方を知り、新たなものの見方を育む。 ・ 様々な題材について英語で読むことによって、世界の出来事に目を向けさせ、多様な価値観を養う。

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	4月	Lesson1 Laughter without Borders	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来を表す表現 ・ 時制の一致 	70	既習範囲
	5月	Lesson2 The Ongoing Voyages of Curry	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来完了 ・ 前置詞 		
	6月	Lesson3 The World's Most Bicycle-friendly City	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助動詞 		既習範囲
	7月	Lesson4			
	8月	Can You Feel Emotions in Text?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動名詞 		
9月	Lesson5 Background Music and Sharks	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不定詞 			
後期	10月	Lesson6 The Benefits of Play	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな受動態 	70	既習範囲
	11月	Lesson7 Nursing in a War Zone	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分詞構文 		
	12月	Lesson8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較に関する表現 ・ 従属接続詞 		既習範囲
	1月	Lesson9 The Next Wave in Artificial Intelligence	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係詞 		
	2月	Lesson10 What If There Were No Moon?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮定法 		
	3月	Reading 1 The Joker Reading 2 The Selfish Giant	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ 		

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか	定期考査、単語テスト、小テスト
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか	定期考査、その他の表現活動(例:プレゼンテーション) …別途授業内で指示します
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)忘れ物の有無、授業外で英語を学習する姿勢

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

<p>分量が増えるにあたり、ボキャブラリーが必要です。毎日少しずつ、コツコツ覚えましょう。</p>

R6 年度 学習の手引き（シラバス）

2	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅡ(森・イ)	単位数	3	担当者	宮田・北嶋・田中
---	----	-------	-----------------------	-----	---	-----	----------

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・VISTA English CommunicationⅡ(三省堂) ・ALL EARS BASIC(美誠社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・VISTA English CommunicationⅡ Workbook(三省堂) ・ユメタン(アルク)
--	---

2. 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・英語の基礎的な知識や技能の習得を土台として、英語で積極的にコミュニケーションを図る姿勢を養う。 ・様々な題材について英語で読むことによって、世界のことば、文化、民族などの多様性を知る。
--

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	Lesson1 World Dance Performances	動詞+目的語+to不定詞、疑問詞+to不定詞	53	既習範囲
	5月	Lesson2 A Piece of Cake	疑問詞で始まる節、ifで始まる節		
	6月	Lesson3 Quokka	使役動詞、知覚動詞		
	7月	Lesson4 Designing Stamps	形式主語 it、形式目的語 it		
	8月	Lesson5 Mont-Saint-Michel	様々な完了形		
後期	9月	Lesson6 Smart Agriculture	様々な受け身	52	既習範囲
	10月	Lesson7 A Martial Art on Tatami	関係代名詞		
	11月	Lesson8 Biologging	分詞構文・強調構文		
		ER1 The Open Window	今までのまとめ、復習と応用読解		
	12月	ER2 The Christmas Truce			
	1月	EE3 My Dream			
	2月	ER4 The Restaurant of Many Orders			
3月					

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか	定期考査、単語テスト
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、また表現したり伝え合ったりすることができるか	定期考査、その他の表現活動(別途、授業内で指示します)、ペアやグループの発表など
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)・忘れ物の有無

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

<p>苦手意識を持たず、ストーリーを楽しもう。</p>

R6 年度 学習の手引き（シラバス）

2	学年	教科・科目	外国語・論理・表現Ⅱ(普・理)	単位数	2	担当者	宮田・北嶋・河上
---	----	-------	-----------------	-----	---	-----	----------

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 : Vision Quest English Logic and ExpressionⅡ Hope (啓林館) ・副教材 : 総合英語 Factbook これからの英文法 (桐原書店)、Vision Quest 論理・表現Ⅱ Hope Workbook (啓林館)
--

2. 科目の目標

・英語の4技能（読む、聴く、書く、話す）を総合的に身に付け、基本的な文や語句を用いて、情報・意見・考えなどをロジカルに、場面や状況に応じて英語で表現する能力を身につける。

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	Lesson1 What is your future goal?	適切な主語を用いる	35	既習範囲
	5月	Lesson2 What school events do you have?	適切な動詞を用いる		
	6月	Lesson3 Who is the best athlete?	時を表す		既習範囲
	7月	Lesson4 Is social media safe?	義務・必要・推量を表す		
	8月	Lesson5 How dose overusing energy affect us?	情報を加える(1)		
	9月	Lesson6 What are some differences?	情報を加える(2)		
後期	10月	Lesson7 Do all Japanese people need to speak English?	情報を加える(3)	35	既習範囲
	11月	Lesson8 Is Japan open enough?	情報を伝える		
	12月	Lesson9 What if you were rich?	仮定を表す		既習範囲
	1月	Lesson10 How might AI affect our lives?	数量を表す		
	2月	Lesson11 What is a healthy life?	比較を表す		
	3月	Lesson12 What is important when we sell chocolate?	否定を表す		

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているか	定期考查
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、また、論理的に表現することができるか	定期考查、授業内のライティング・スピーキングテスト(別途指示します)、ペアやグループの発表など
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)、忘れ物の有無、授業外での学習の姿勢

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

・失敗を恐れず、表現したいことを英語にしてみよう
